【ねがいましては】

平成18年5月26日 第188号

KYOWA SCHOOL

「自由の意味」

先日、冷や汗の出るような場面をテレビで拝見しました。ニートの方が出演なさっており、コメンテーターの方が、「あなたは、お父様お母様がお元気で働いておられる間は、ニートのままで平気ですか。」「はい。」・・・・・

他にも質問があったのですが、心から冷や汗が出るとともに、その映像をご覧になっている、実のお父様お母様の表情とお気持ちが浮かびました。あまりのショックにその場面だけが妙に脳裏にこびりつき、残ってしまいました。「お父さん、お母さん、なぜ黙っておられるのですか。」わたしは心の中でつぶやきます。

その後、このようなニートの方々の家庭環境調査では、ほとんどのご両親が、「本人の自主性に任せてきた。自由 にやりたいことをやらせてきた・・・。」というご返事の方がほとんどであったと言います。

ここで「自由」というものを取り違えていることに、まったく気がつかずに現在に至ってしまったのです。

よく私が「自由」を持ち出すのが、キャンプの説明会のときです。「自由とは、自分がとった行動にしっかりと責任を取ることなんだよ・・・。つまり、自分勝手な行動をとって、周りの子達に迷惑をかけてしまったら、自分ひとりでしっかりと謝ったりすることなんだよ・・・。それが本物の自由。」と言った具合です。

「自由」と紙一重で隣り合わせにいるのが「楽」です。「自由に生きたい。」と叫んだあと、「楽に生きたい。」と叫んでも、あまり違和感が無いような気がいたします。特に子供たちに対しこのようなお話をしたら、おそらくなるほどと言う意見が多いと思われます。

「自由時間にします。」と、先生が言われたあと、すぐさま勉強を始める子は何人いるでしょうか。それだけ勉強と自由は、かけ離れた存在になっています。自由な時間があったら、思う存分自分のやりたい勉強に取り組んでみたい。そう思う子は・・・。いるような気がいたします。いたような気がいたします。思い当たる節があるのです。

これを読みながら、ひょっとすると自分かも・・・。と思っている子はいますか。ひょっとすると我が子かも、と 思っておられるお母様、お父様はおられますか。

私はこの気持ちこそ本物の自由であると思います。

では先ほどのニートの青年とどこが違うか・・・。

目的です。目的があるからこそ、本物の自由を得られたのだと思います。『夢・目標・目的』その心の対象が、家族や社会に向けられていれば、100点ではないでしょうか。その『意思』が大切であると思います。

今まさに将来へ向けて目標を高々と掲げ、黙々と向かう。この意思こそ子供たちが必要としなければならないものだと思います。

自分はどうあるべきなのか。子供たちは考えています。考えても答が見つからないとき、彼らはやがて考えることを止めてしまいます。

CAMPで見る子どもたちの、あの燐とした表情は何なのか。スタッフの人たちの、班長さんたちの振る舞いを見、「なぜこんなにも人のために尽くすことができるの。」子供たちはひとつの疑問に突き当たります。そのうちなんとも言いようの無い『うれしい気持ち』が全身を包み始めます。「わたし・・・ぼく・・・あのお姉さんのようになりたい。あのお兄さんのようになりたい。」目標が見つかります。言葉では言い尽くせない感情を小さな子達は肌で感じ始めます。

寝る時間・・・自由。何を食べるの・・・自由(しっかり作ってね)。何して遊ぶの・・・自由。でも気がついたら・・・・自分のことより、となりの人の気持ちを一番に考えていた。となりの人の笑顔が一番見たくなっちゃった。となりの人が喜んでくれることが、一番幸せって思えるの・・・。

自由とは・・・・。人を幸せにする空間。

自由な時間に、机に黙々と向かう子。「何そんなに真剣に向かってるの、宿題。」と、母。「えー、ちがうわよ。どうしても知りたいことがあってね、調べてるの。」と、子。「何。」・・・「ひみつ。」

その子が調べていたのは、マザーテレサさんについてでした。あとからそれを知った母は、なんとも言えない温かい気持ちになったそうです。

ねっ、目標があるって、夢があるって、家族を幸せにしていますよね。本物の自由は家族を幸せにするのです。 生きてゆくことの意味、真剣に話し合うことが、今、すべての家族に必要なのではないでしょうか。 キャンプへ行ったら、『生きてゆくことの意味』語ろうね。

今年のキャンプは、8月6日(日) \sim 10日(木)になりました。 詳しくは、別紙をご覧ください。